

探検！郵便局&夏の絵手紙教室

盛会御礼新聞 ほすくま登場

平成29年7月15日

TOSS 高知

夏の絵手紙教室・大盛況！

今年で3回目となる夏の絵手紙教室。参加児童52名。同伴者49名。計101名と過去最高の大盛況。

参加者募集直後から多くの方々にお申込をいただいた。夏の絵手紙教室というイベントが定着した感がある。何よりも、楽しく手紙・ハガキ文化に触れて欲しいという郵便局とTOSSの想いに興味・関心を示してくれる方々が多いことに喜びを感じた。開会挨拶は高知東郵便局の與三川局長。

「分身の術を学んで欲しいですね。お手紙をもらった人のことを考えて、お手紙を自分の分身にしてもらいたいのです。」



暑中見舞いとは・・・

世界一受けたい郵便の授業。今回のテーマも「暑中見舞い」。昨年は「歴史」「江戸時代の食」

を切り口に授業を展開したが、今年度は「江戸時代の暑さ対策」をテーマにした。浮世世絵に描



かれてある江戸時代の暑さ対策。例えば、金魚や朝顔もその一つ。江戸時代に流行した物が、今も暑中見舞いの背景に利用されている。浮世絵を見て低学年の子どもたちが積極的に発言をする。暑中見舞いの間違い探しにも果敢に挑戦をしていた。

暑さを吹き飛ばす！花火！



今回の絵手紙のテーマは花火。しかも2パターンの花火を短時間で描くことに挑戦をした。

一つ目は、綿棒・

絵の具・クレパスで描く簡単花火。クレパスで線を引き、絵の具で点を打つ。様々な色を自由に組み合わせ



わせてオリジナル花火が完成していた。お兄ちゃんと一緒に参加してくれた園児の男の子は、お母さんと一緒に力強く綿棒で花火の点を打っていた。園児「できた〜!!!」

自分の力で描けたという達成感溢れる笑顔であった。

二つ目は、切り絵でつくる花火。



小さな折り紙を折って、はさみで一部分を切りとる。折り紙を開いてみると、きれいな花火ができています。様々な折り方、切り方で花火の形が変わる。失敗を全く恐れない子どもたち。ど

んどん切り込みを入れていき、オリジナルの花火が多数完成していた。

「ほすくま〜!」

ほすくまくん登場する瞬間がやってきた。ところが、ほすくまは恥ずかしがり屋さんのようだ。みんなで大きな声を出して呼んでみた。

ぽすくまが見えた瞬間、「かわい〜!」という声会場中から聞こえてきた。保護者も喜んでい



る!さすがは郵便局が誇る大人気ゆるキャラ。

たんけん!郵便局

保護者の方も夢中になる大人気コーナー。普段は見ることができない郵便局の裏側に潜入。今回は高速区分機を見学した。高速区分機に封筒が投入される



と目にもとまらぬ速さで、目の前を通過していく。「おお〜!」と歓声があがる。しばらくすると、高速区分機が止まる・・・。

「今日は機会も注目されて恥ずかしがっているね」とスタッフの方が場を和ましてくれる。笑いの絶えない時間となった。

児童の感想より (一部抜粋)

- ・ほすくま、かわいかった。もふもふやった。
- ・きれいに上手にできてうれしかったです。
- ・花火の書き方や夏だから涼しい風景を描くことが分かりました。

保護者の感想より (一部抜粋)

- ・お話も楽しく、親も一緒に楽しませていただきました。郵便局の探検も初めてで楽しかったです。
- ・ハガキを出す機会も減っているの、良い勉強になったと思います。

文字を書く機会も減ってきているので、これを利用して、これを親子で書いていきたいと感じました。

